

# 嵯峨大念佛狂言

国指定重要無形民俗文化財



17年振りの公演！清涼寺が舞台の演目『百萬』

## 嵯峨狂言の秋季公演

令和5年（2023年）

10/22  
日

午後1時半開演

嵯峨狂言堂にて

清涼寺（嵯峨釈迦堂）境内

演目

百萬／釈迦如来／紅葉狩

お席に限りがございますので、お早めにお越しください。

観覧無料  
雨天決行  
荒天中止

国指定重要無形民俗文化財  
嵯峨大念佛狂言

17年振りの公演！清涼寺が舞台の演目『百萬』

# 嵯峨狂言の秋季公演

## ◆嵯峨大念佛狂言について

京都市の西、嵯峨駅迦堂の名で親しまれている古刹・清涼寺の境内で執り行われる「嵯峨大念佛狂言」は、国の重要無形民俗文化財にも指定されている民俗芸能です。すべての役者が面を着け、セリフがなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があり、現在は約二十番の演目が残されています。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念佛をひろめた円覚上人導御の創始とされています。資料から見ても、嵯峨大念佛狂言には室町時代(享禄二年[1529年])の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛の刻銘を持つ女面《深井》や、和宮降嫁の際に宮中の女官としてその説得にあたった高野房子の菩提を弔うために奉納された装束など、美術史的にも宗教史的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。

## ◆秋季公演について

清涼寺大念佛会の創始者、円覚上人導御の命日である10月26日に近い日曜日に開催されます。公演の前には清涼寺裏手の元地蔵院の墓地にある上人の墓に保存会の会員が墓参に訪れます。地蔵院は清涼寺の真言系学僧がいた寺院であり、狂言に用いられる道具類の多くは、かつてこの寺に奉納されたものでした。上演されるのは原則として三番で、本年の公演では、『百萬』『釈迦如来』『紅葉狩』の三演目を上演いたします。特に『百萬』は、17年ぶりの公演となりますので注目です。

## ◆演目

### カタモン 百萬 ひやくまん



配役	casting
百萬	柳原 好克
旅僧	山下 一洋
門僧	小檜山 一良
十萬	松本 波留

大勢の大衆が踊っているところへ、旅の僧が十萬を連れて母を探しにやってくる。面白いものを見せたいと相談された門僧は、踊り狂う狂女を見せようとする。十萬はその様子を見て、狂女が母親ではないかと思い、旅の僧に相談するが…。

### ヤワラカモン 釈迦如來 しゃかによらい



配役	casting
釈迦	松浦 剛
母親	芳野 明
娘	松本 理次
坊主	小檜山 一良
寺侍	松井 銀司

坊主と寺侍はお釈迦様を本堂に据え、守りをする。母親と娘がお釈迦様を拝みに来る。母親がお参りをすると、うれしそうに「ガッテン、ガッテン」と動く。娘がお参りすると、お釈迦様は後ろを向いてしまう。坊主と寺侍は思案のすえ母親に向きを変えてもらおうように頼むが、お釈迦様と母親は…。

### カタモン 紅葉狩 もみじがり



配役	casting
美女	柳原 好克
侍女	山下 一洋
惟茂	小檜山 一良
供	松本 波留
地蔵尊	浅野 高行
鬼女	橘 隆仁

美女と侍女が山中で紅葉狩りをしている。一方、維茂と供は狼狩りをしていた。美女は、再三勧めて、維茂に酒(毒酒)を飲ますことに成功する。そして、維茂が寝込んだ隙に、刀を奪って逃げ去ってしまう。寝ている維茂の元に地蔵尊が現れる。

団子方 カネ・太鼓 加納 敬二 笛 近藤 奈央 後見 小西 小三郎 (団子方・後見はいずれも同様)

## 庭茶室 Bhagavan ヴァガバーン

今夏、清涼寺境内に新しく喫茶カフェがオープンいたしました。店名の「Bhagavan(ヴァガバーン)」とは、お釈迦様を意味するサンスクリット語です。嵯峨狂言独白演目「釈迦如來」ともゆかりが深いお店となっています。ぜひ、公演の間に足を運んでいただければと思います。



チラシの写真は、演目『百萬』をイメージしたもので、実際に『百萬』に出てくる姿ではありません。

## 嵯峨大念佛狂言保存会

〒616-8447 京都市右京区嵯峨駅迦堂藤ノ木町46  
清涼寺（嵯峨駅迦堂）  
075-861-0343 ☎ www.sagakyogen.info  
✉ vtm19509@leto.eonet.ne.jp



## 清涼寺へのアクセス

・京都市営バス 28系統・91系統	嵯峨駅迦堂前下車 西へ徒歩2分
・京都バス 61-62-71-72-81系統	嵯峨駅迦堂前下車 西へ徒歩2分
・JR 嵐山野線（山陰線）	嵯峨嵐山駅下車 北西へ徒歩15分
・嵐電 嵐山本線	嵐山駅下車 北へ徒歩15分



## ◆百萬とは

『百萬』の舞台は嵯峨清涼寺であり、嵯峨大念佛会の創始者として伝えられる圓覺上人の母が百萬の原型だとされています。様々な伝統芸能で『百萬』は演じられていますが、嵯峨狂言で演じられるものがもっとも原初的です。とともに『百萬』とは能の演目で、観阿弥原作の「嵯峨物狂」という謡曲を世阿弥が改作したもので、現在の演目は昭和53(1978)年に故小沢自然氏が嵯峨狂言用に改作しました。

『百萬』で使用される「深井面」は桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛の刻銘があり、歴史を感じることができます。



能面系 女面  
「深井」



嵯峨狂言堂前に建つ謡曲史跡保存会の駒札

## 事業予告

京の伝統芸能と  
その衣裳・用具の  
製作を支える人々  
第2弾



2023.11.18 (日) 13:00-17:00  
清涼寺境内 嵯峨狂言堂

大念佛狂言公演 京の2大念佛狂言の共演  
嵯峨大念佛狂言／千本ゑんま堂大念佛狂言

11月1日～16日 ゼスト御池  
パネル展示巡回  
11月21日～予定 京都精華大学

以降も、右京ふれあい文化会館など予定しています